

事務事業名	長清太鼓保存会活動支援事業 ☐ 実施計画事業		所属部局	教育委員会		単位番号	12360								
			所属課室	生涯学習課		課長名	新津 岳								
			所属担当	生涯学習担当		担当者名	笹本芳美								
基本政策	基本計画体系	V	個性と文化を育む都市づくり		予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目			
		25	文化づくりの推進			01	一般	1	0	0	4	0	6	0	4
政策		39	歴史・伝統文化の振興		事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金									
施策															
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 年度)		法令根拠		事業費の主な内訳 (22年度) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 団体補助金 75 計 75										
	☐ 期間限定複数年度 (年度)														
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 H22年度 長清太鼓保存会の活動に対して補助金を交付する。 H23年度 長清太鼓保存会の活動に対して補助金を交付する。 地域の伝統芸能の継承及び保存に努め、太鼓の活動を通じて地域との交流を図るため補助金を交付する。														

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	毎週木曜日に練習会を開催 市内外のイベントに参加し、保存会の活動をPRしていく。
23年度活動予定	毎週木曜日に練習会を開催 市内外のイベントに参加し、保存会の活動をPRしていく。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
市民 長清太鼓保存会	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていきたいのか、どのように変えるのか)	
保存会の活動が活発になることにより伝統芸能である長清太鼓が継承されていく。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
地域文化が保存・継承される。	

⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
	名称	単位
	ア 練習会 イ 演奏会 ウ	回数 回数
⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
	名称	単位
	ア 人口 イ 会員 ウ	人数 人数
⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
	名称	単位
	ア 新規会員数 イ ウ	人数
⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
	名称	単位
	ア 文化にあふれるまちと感じる市民の割合 イ	%

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間トータルコスト	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	80	75	73	71	73	73
	事業費計 (A)		千円	80	75	73	71	73	73
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	3	3	3	3	3	3
		人件費計 (B)	千円	13	13	12	12	12	0
		(A)+(B)	千円	93	88	85	83	85	0
	活動指標	ア 回数		40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	
		イ 回数		21.0	21.0	21.0	21.0	21.0	
	対象指標	ア 人数		73,000.0	73,000.0	73,000.0	73,000.0	73,000.0	
		イ 人数		17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	
	成果指標	ア 人数		17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	
		イ							
	上位成果指標	ア %		42.0	45.0	45.0	45.0	45.0	
		イ							

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	合併前、旧町村時代から長く行ってきた事業である。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	伝統文化の保存・継承事業であり、状況の変化はあまりない。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	特になし

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由！】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	市内にある別の太鼓保存会との連携を図りながら有効性を向上させる。また、事業費の削減。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	事業費の見直し

事務事業名	長清太鼓保存会活動支援事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 伝統文化の保存・継承に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 地域文化が失われないために市が関与するのは妥当である。
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 伝統文化の保存・継承のためには適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 会員の増加に努め、もう少し市民に伝統文化を周知してもらいたい。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 現実的には各太鼓はそれぞれの独自性をもった団体であり、団体の統合は困難なため、事業の統合も難しい。 ☒ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 地域文化の保存・継承が危ぶまれる。 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 地域文化の保存・継承が危ぶまれる。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 年々補助金の削減が行われており、これ以上はなかなか難しい。 事業報告書からH22年度は太鼓購入・整備積み立てをしない(20万円)ことを除いても繰越金が50万円以上発生している。また20万円を超える謝礼金もあり、市補助金は必要ないと思われる。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方を見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 現状でも最低限の人件費である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 伝統文化を保存するためには保存会という受益者に補助金が偏っても仕方がない。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	活動量は市内の太鼓関連補助金交付団体では一番多く、活発な活動は賞賛されるものである。その活動量に見合った収入、また会員の会費等から考慮すると「補助」を受けなければ活動できないような団体では無いと思われる。今後は補助金削減に向けて団体と交渉を行う。その際は予算の半分程度を占めている会費(1人月3,000円と推定)について、自らの太鼓を叩く楽しみ(娯楽)と補助団体としての文化伝承との妥当性がキーワードとなると思われる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table>				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について		※ 廃止・休止の場合は記入不要																						
①補助金削減		(5) 事務事業優先度評価結果																						
②		成果優先度評価結果	⑧																					
③		コスト削減優先度評価結果	⑥																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																								
①補助金削減に関する異議																								
②																								
③																								